

生涯學習情報誌

Life Learning

2019
Mar.
NO.343



みなさん、さようなら!!



生涯学習開発財団理事長・松田妙子は、2019年2月8日午後8時、
聖路加国際病院にて肺炎のため死去しました。

1月29日のLLメンバーズ交流会冒頭のビデオクリップでご挨拶したとおり、
転倒によるケガから復帰目前まで回復し、可能な限り執務もこなしていました。

2月8日も、直前まで財団職員や家族と元気に会話していたのですが、
わずかな時間の静寂の後、眠るように息を引き取っていました。

誰もが予想しなかった急な旅立ちですが、
松田妙子らしく、生涯現役、ピンピンコロリを体現してみせた、91歳の大往生でした。

生涯学習開発財団は、松田妙子の意思を引き継ぎ、
年齢に関係なく学んで社会とつながって生きる生涯学習社会の推進に努めます。

みなさま、引き続きよろしく願いいたします!

直前まで、自身と我々を鼓舞してくれた松田理事長、ありがとう!!



↑左から財務省河川口健児部長、小林史明衆議院議員、財団事務局長・佐藤梨奈。



↑ビデオメッセージでいつも通り元気の挨拶をする、財団理事長・松田妙子。



→山口壮衆議院議員と財団理事たち。左から日野理事、熊丸理事、山口議員、富田理事、横川理事



←今回のMCは松本和子さん。



↑ハーバード・クロコディロスのメンバーからもメッセージと美しいハーモニーが動画で届いた。



←山口壮衆議院議員は、松田妙子とは40年の付き合い。エピソードを交え乾杯!



←金屏風に和装が華やか、日本の技シリーズの竹花万貴先生とチェリストの加奈子さん母娘。



初めての出会いも
おなじみも
和やかに交流しました



冒頭、怪我でリハビリ中の財団理事長・松田妙子からのビデオメッセージが上映され、「今回は元気になって皆さんとお会いできるはず。楽しみにしていてください」とこあいさつした。

乾杯では衆議院議員の山口壮むつ氏が壇上に。「松田理事長とは出会って40年が経過した。最近、当時の写真を見せてくれて、私が首をかしげていると、『これ私よ』と指摘され、思わず『綺麗ですね』と言ったやり取りを思い出した。出会った当初は生涯学習という言葉にピンと来なかったが、その後、いくつかの経験を経て理解することができた。外務省時代に夜中の2時まで仕事の後、4時半に起きて勉強をし、博士号取得を目指していたのだが、松田理事長から激励されたことを覚えている。中国に行った時に鄧小平と会い、60代はひよっ子、70代はかけ出し、80代で一人前と言われた。まさに生涯学習だと感じた」とエピソードを披露し、乾杯の音頭をとった。

ハーバード大学クロコディロスのビデオレターも紹介された。メンバー全員が松田理事長のケガの具合を心配し、早く良くなってほしいとの声が伝えられた。ビデオの中で、いつもの美しいハーモ

せきせきてい
昔昔亭桃之助
と申します
以後お見知りおきを!



↑落語家の芸は話芸だけではいけないことがよくわかりました。



会が進むにつれ
交わりも促進され
ます。



いだてんも!

博士も!

ザ・テノール
榛葉昌寛



↑事務局長・佐藤梨奈から、NHK大河ドラマに財団の源流と言える大森兵蔵・安仁子夫妻が登場していることを紹介。



↑張競先生から
博士号取得支援
の面々を紹介。
取得率6割以上。

この会の10日後にまさかの永眠。松田妙子らしいピンピンコロリだった。

この会の10日後にまさかの永眠。松田妙子らしいピンピンコロリだった。

今年で9年目となった博士号取得支援事業について、選考委員長の張競先生から報告。支援合格者の博士号取得率は60%を超え、事業の成果を訴えた。

最後はテノール歌手の榛葉昌寛さんが登壇、シュールベルトの「アベマリア」、そして「フニクリ・フニクラ」が来場者の手拍子と共に会場に響いた。

この会の10日後にまさかの永眠。松田妙子らしいピンピンコロリだった。

現在、放映中のNHK大河ドラマ「いだてん」東京オリンピック囃いで竹野内豊が演じる大森兵蔵が、松田妙子の大叔父であることを、財団事務局長・佐藤梨奈が紹介。兵蔵はアニー・シエプリーと結婚し、夫婦で社会福祉施設、有隣園を設立した。日本が初参加したオリンピック、1912年のストックホルム大会を監督として率いた帰途で病死した。

最後に会場からの掛け声を受けながら、南京玉すだれで楽しませた。

お楽しみステージは、昨年真打ちに昇進した落語家の昔昔亭桃之助さん。まずは漢字のなぞなぞを、来場者と楽しく掛け合い。車偏に赤で郵便車、車偏に白黒でパトカー、酒偏に少でスコッチ、木偏に赤でリングゴ、木偏に紫でブドウ、木偏に黄は横、といった具合だ。続いて高座における手拭いの使い方を説明した後、本日のネタ「他行(出張)」が披露された。最後に会場からの掛け声を受けながら、南京玉すだれで楽しませた。

コーチング型マネジメントによる組織開発とリーダー開発

■さまざまな組織の開発をグローバルに促進

コーチ・エイは、「人と組織の可能性を開く」をミッションとし、コーチングを通じた組織開発、リーダー開発を提供している。CEOを含む組織のトップをコーチし、その組織全体を変革していくサポートをする。コンサルティングが課題解決のソリューションを提供するのに対して、コーチングは、組織のリーダーを開発することによって、業績につながる組織風土をつくっていく。

サービスの提供先は、一部上場企業、グローバル企業、スタートアップ企業、病院、プロスポーツチームなどさまざま。ニューヨーク、上海、香港、バンコクにも拠点がある。

■対話により能力の足し算ではなく掛け算を

コーチングは、思い通りに部下を動かすためのスキルではない。過去に上意下達のマネジメントで成功してきた企業も、今は変わってきている。全員が自分で考え、役職や配属にとらわれず意見を交わし、対話を起こすことで組織を強くしていくことが求められている。

コーチ・エイには、個人がコーチング型マネジメントを学ぶプログラムもある。「非常に有能な一人のリーダーが部下を動かすのではなく、それぞれの知恵やアイデアを掛け算する、それがコーチング型マネジメントです。受講生からも、自分自身のリーダーシップが変わったことによって、部下や組織のパフォーマンスに変化が起きているという声を多くいただきます。コミュニケーション

●株式会社コーチ・エイ

〒102-0074

東京都千代田区九段南2-1-30

イタリア文化会館ビル 9階・10階

TEL : 03-3237-8050 (大代表)

URL : <https://www.coacha.com/>

1997年 設立 (2001年組織変更)

1998年 資格認定団体登録

代表者：代表取締役社長 鈴木義幸



取材にご対応いただいた
ご自身も認定マスター
コーチの酒井春奈氏

ションのスキルなので、仕事以外の場面でも活か
せませす」と同社マネージャーの酒井春奈さん。

酒井さんはコーチ・エイ アカデミア（コーチ
ング型マネジメントを学ぶプログラム）を担当し
ている。アカデミアでは、中小企業の経営者、大
手企業の部長やマネージャークラス、クリニック
の院長など、組織のリーダーが学び合っている。
受講によって、生涯学習開発財団が認定する3つ
の資格（認定コーチ、認定プロフェッショナルコ
ーチ、認定マスターコーチ）の取得を目指す。

■明らかに現場が変わる

対等な対話を起こし、人の成長を促すリーダー
を一人ずつ育てること。その結果として組織が活
性化していく。メーカーの海外拠点長は、売り上
げを前年度比174%、利益を5倍に上げた。製
薬会社では業務の効率化を図り、コストを3割程
度下げることになった。クリニックでは5年間
離職者が出ていない。そうしたエピソードがどん
どん届く。

最近では、海外駐在員の受講が増えている。酒井
さんがコーチをするヨーロッパ駐在のCOOは、
全て自分で指示していたのを、現場の店長に考え
てもらおうようにしたら、受講開始から3か月にし
て滞留在庫が大幅に減った。

実業団やプロスポーツチームなどの監督、コー
チも受講している。スポーツもビジネスと同じで、
目標達成には、選手が主体的に能力を開発してい
くことがとても重要という。